



田尻町議会だより

# たじりの風

8484人

Vol.142

令和7(2025)年  
2月1日発行

■発行/大阪府田尻町議会 ■編集/議会広報委員会 大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺375番地1 電話 072-466-5000 FAX 072-466-5028



おめでとうございます

今年は272名の方が二十歳を迎えられました

## 主な内容

- ★ 一般質問 (12月議会) ..... 2 頁
- ★ 議会の日程 (3月議会) ..... 6 頁
- ★ 委員会報告 (12月議会) ..... 7 頁
- ★ 審議結果 (12月議会) ..... 8 頁

## 田尻町議会 YouTube チャンネル

- ・ 議会の様子を視聴することができます。
- ・ 音声の内容は公式記録ではありません。



# 12月議会 一般質問

- 中野 静男 議員
  1. AEDの現状と対応について
  2. 高齢者免許証自主返納制度の検討状況について
  3. (仮称) 田尻町総合文化センターの今後について
- 原 明美 議員
  1. 町長公約の防災・文化センターについて
  2. 基金など田尻町の財政全般について
  3. 野生動物の被害対策について
- 今井 猛史 議員
  1. 一貫教育について
  2. 防災対策について
- 山口明日香 議員
  1. 耳の聞こえについて
  2. 不登校対策について
- 冬野雄一郎 議員
  1. 田尻町役場内での人事政策について
- 永井 朋一 議員
  1. 本町の防災について
  2. 本町の産業振興について
- 吉開 育子 議員
  1. 施設一体型の小中一貫校にこども園まで入れるのは無理があるのではないか
  2. 犯罪防止へ警察と町との連携強化を求める
  3. 家庭用防犯カメラ設置助成の創設を求める
- 小川 雄司 議員
  1. こども園は現状施設を拡充し受入定員増加の検討を
  2. 幼児教育充実のための準備時間の確保は
  3. 青少年の育成対策として海外研修の実施は

※一般質問の様子は町のホームページ上で閲覧できます。(You Tube による動画配信です)  
 ・閲覧方法・田尻町のホームページ  
[www.town.tajiri.osaka.jp/](http://www.town.tajiri.osaka.jp/) ⇒ 町議会 ⇒ インターネット配信

※この一般質問の内容は、各議員の責任のもと記載しております。

※**答**の中で、安まち局課長は安全安心まちづくり推進局課長兼局長、文化・教育PT課長は文化・教育施設建設プロジェクトチーム課長の略です。



中野 静男 議員

## 問 救命医療機器AED設置の現状と今後の考えは

**答** 助かる命が守られるよう、適正に管理運用する

**問** AED設置場所と台数、使用時間は。他の自治体調査では夜間使用が80%出来ない状況であった。夜間使用への対策(コンビニ設置依頼、公共施設外部への設置、AED併設の飲料自販機の要請)が必要ではないか。

**答** **総務課長** AED設置は15施設、17ヶ所。役場、吉見・嘉祥寺集会所、消防センター、葬祭場、ふれ愛センター、こども園、なかよし学級、小・中学校の保健室と体育館、公民館、町営プール、多目的グラウンド、教育センター、駅上広場に設置。夜間対応は役場と消防センター。上記三つの提案に対しては、今後、対応を進めていきたい。

## 問 (仮称)田尻町総合文化センター駅上広場建設の現況を問う

**答** 改選前議会は承認で事業は進んでいたが、現議会で止まっている

**問** 人生100年時代へ向けた生涯学習、防災への対応を、どのような考えで総合文化センターを進めてきたか。

**答** **文化・教育PT課長** 人が集い、様々な学習、趣味や芸術等を通じて、心の豊かさを実感できる風土の醸成又、住民の生命、身体を守る事が最優先の災害時に、住民が安心して避難できる防災を兼ね備えた施設として進めてきた。

**問** 総合文化センターのほか一貫教育施設の建設も控えている。住民サービスへの影響を心配することのないよう、財政面を問う。

**答** **文化・教育PT課長** 公民館改修増築で14億円、建替で28億円、駅上広場への建設が29億円と基本構想で示し、改選前議会で駅上広場建設の承認を得て進めた。

**答** **総務課長** 基金として110億円あり、基金残高が、起債(借金)を上回っている唯一の自治体で、財政に関しては府内でも類を見ない健全な状態。総合文化センター、一貫教育施設は住民の為の投資で、住民サービスへ影響しないことが前提で計画している。



原 明美 議員

## 問 田尻町の財政運用の現状は

**答** 現在、基金より7億円を債券により運用

**問** 田尻町は現在、財政調整基金や公共施設等維持整備基金等合わせて約100億円ある。今後も積極的に運用していく考えはあるのか。

**答** **会計課長兼税務課長** 財政調整基金より今年度中に、余裕資金の一部を債券により運用したいと考えている。国債、地方債、政府保証債、地方公社債のいずれかと考えている。

**問** 現在9社に出資しているが、その理由と今後について。

**答** **総務課長** 行政事務を行っていく上で関係の深い団体であり、引き続き出資していく必要があると理解している。

**問** 財政運用として、健康ポイント制度の寄付額の上限

を引き上げ、その引き上げ分を、一年間介護保険を利用されなかった方に報奨金として渡せないか。

**答** **高齢障害支援課長** 保険料を特定の方に還元することは、制度の趣旨から外れるものと考えている。

## 問 アナグマを捕獲した時の対応は

**答** その場で速やかに逃がす

**問** 捕獲したアナグマは、檻の中で威嚇するように唸り声を上げていた。そのアナグマを町の助言通り逃がして、子どもや犬などに怪我をさせたり、また家に被害を及ぼした時の責任は誰がとるのか。

**答** **産業振興課長** 誰かが責任を負えるものではない。

**問** わな猟の免許を所持している業者に引き取り等を頼んだ時の費用は、誰が支払うのか。

**答** **産業振興課長** 頼んだ人が負担する。



今井 猛史 議員

## 問 「一貫校のコンセプト」の取り組みとは

**答** 地域の声を学校運営に活かしながら魅力ある学校づくりを進める

**問** 一貫校建設にあたり、町営プールを今後どう考えているのか。

**答** **一貫教育推進課長** 学校の授業だけでなく、生涯スポーツなども必要である観点から、関係部局と連携を図りながら検討しているところである。

## 問 駅上広場の工事完了後の防災の取り組みは

**答** まちかど救急箱の充実を考えている

**問** 田尻町として社会資本整備総合交付金を使った避難所の検討をされてはどうか。

**答** **安まち局課長** 避難所が災害のときのみで、常時使うことができないところが田尻町にマッチするかはわからないが、こういう施設が必要ということであれば、補助金の方も勉強したい。





山口 明日香 議員

## 問 耳の聞こえを補うための取り組みは

### 答 補聴器購入費の助成事業を進める

**問** 昨年より、加齢性難聴に悩む高齢者の聞こえを補うために補聴器購入費の助成を訴えてきた。

まず、健康診断時に聴覚検査を実施し、聞こえが悪くなっている自覚症状がない方への啓発や実態を把握し、必要であれば検討するとの事だった。その後の進捗状況と経過は。

**答** **高齢障害支援課長** ふれ愛健診で聴覚検査を実施し、聞こえが低下している方は、言語聴覚士による聴覚相談を受けていただいた。

2回の実施結果から、対象者の約50%に所見ありとされた。その内約20%が聴覚相談を受けた。聴覚相談を受けたほぼ全員が医療機関への受診を推奨された。そのことから、聞こえにくい状況を放置しない事が重要であると考え、積極的に補聴器購入費の助成事業を進める。また、購入後のフォローアップも考えている。

## 問 田尻町における不登校対策は

### 答 可能な範囲で柔軟に個別対応している

**問** 全国的に小・中学生の不登校が激増している。田尻町においてはどうか。

**答** **一貫教育推進課長** 長期欠席者の割合は、令和5年度では小学校1.5%、中学校5.7%。教室以外の登校者は、小学校0.2%、中学校0.4%となっている。田尻町は全国的に見たら少ないが増加している。

**問** 教室に入る事ができない方の勉強方法は。

**答** **一貫教育推進課長** 教員による指導、オンライン学習、課題に取り組む自主学习、AIドリル等を行っている。また、本人や保護者と相談の上、学習支援体制として、学校教育指導員が教育支援センターでサポートも実施している。

**問** スクールカウンセラーの関わりは。

**答** **一貫教育推進課長** スクールカウンセラーは全体で3名配置している。情報共有や検討会議に出席していただき、本人や保護者からの個別相談や検査の実施、結果のフィードバックを行っている。



冬野 雄一郎 議員

## 問 町職員のスキルアップ対策やマネジメント施策は

### 答 研修や人事評価制度を活用し、公務能率の向上を図っている

**問** 町職員の専門知識の向上や業務に対する意欲を持って職務に従事してもらうことが、住民サービス向上に直結する。田尻町での職員の能力向上施策や人事の自己申告制度、政策提案制度はどうなっているのか。

**答** **秘書課長** 大阪府などが実施する市町村職員研修に積極的に参加し、専門知識、技術の向上を図るとともに、目標管理、自己申告、面談などの制度を活用し、きめ細やかな人材評価制度を実施している。また、職員からの政策提言や業務改善

等の意見発信を促進する等の施策を通じて士気高揚、公務能率を高め、住民サービスの向上につなげている。





永井 朋一 議員

## 問 町の防災対策・産業振興については

答 知恵を出し、しっかりと汗をかいていく

問 コミュニティタイムライン作成の進捗は。

答 安まち局課長 モデル地区として吉見の3つの隣保班を設定し進めている。目下の課題は、中心となって協力してくれる人材の不足。

問 災害時の生活再建計画は検討しているか。

答 安まち局課長 復旧期の支援として、身体的・精神的なケアや現金給付とは限らず適合した支援を行う。財源は基本国費にて賄う。

問 能登に見るような、最悪の事態を想定した児童の集団避難へ向けた準備態勢は。また、そのような場合の心的なサポートの体制は。

答 安まち局課長 予め準備態勢を整えておくことは難しい。心的なサポートについては、子どもに限ったわけではない。

が、災害時保健活動マニュアルを本年度中を目標に作成する。

問 一貫校建設において、災害時を見越した配置設計にするなど早期再開への対策をしておくべきと考えるが。

答 一貫教育推進課長 学校活動に支障をきたすことのないような整備の検討をしていく。

問 たじりっちプレミアム振興券事業は、業態において恩恵の受け方に差があるが、この格差についてどうするのか。

答 産業振興課長 来年度は店舗マップをリニューアルし、広報に注力したい。

問 農業や漁業などの町内一次生産者に対し、学校給食事業への参入を推進しては。

答 産業振興課長 収量や残留農薬など課題があるので、支援策があれば検討したい。

問 地域産業振興の核となるにぎわい拠点の整備をどう進めていくか。

答 産業振興課長 これまでの漁港に加え、今年度より施行している歴史館を中心とした吉祥の地構築事業において、今後は漁港来訪者やホテル宿泊者を町なかに誘導していきたい。

答 町長 町の産業育成は町の消費者の支えによるところが大きい。当然、行政も知恵を出し汗をかいていく。みんなでまちづくりをしていくことにご協力をお願いしたい。



吉開 育子 議員

## 問 小中一貫校にこども園を入れるのは無理では

答 よりよい教育環境となるよう施設整備を決定する

問 小中一貫校の守口市立さつき学園と、全国で初めて保幼小中一貫校を実施した、南房総市立富山学園を視察して、現在の小・中学校の敷地にこども園まで入れることは無理であり、一体化せずとも一貫教育は今のままでもできると感じた。一貫教育審議会に、6階建ての校舎の案を出していたのではないか。

答 一貫教育推進課長 こども園、小学校、中学校の施設一体型は、全国的にも事例が少ない。今後の検討課題としており、審議会や皆様の意見を頂きながら、課題を整理した上で、よりよい教育環境となるよう施設整備の方向性を決定する。審議会資料の建物の6階建ての案は、あくまで一体化した場合のイメージで、これがすべてではない。

## 問 警察と町の連携強化で防犯に強いまちづくりを

答 今後も警察や関係機関と連携していく

問 田尻町内で、空き巣による窃盗が令和4年度2件、5年度は4件と増えており、今年10月にも町内で空き巣が発生した。町内で事件があった場合、警察と町との連絡体制は、どのようになっているのか。警察に空き巣の情報提供も求め、警察と町の連携を強化し、防犯に強いまちづくりを進めるべき。

答 安まち局課長 ひったくり、路上強盗、凶悪犯罪、子どもや女性に対する被害情報が大阪府警から安まちメールで情報発信される。事件の緊急性等によって町に連絡があり、青パトやたじりっちメールで啓発・周知を行う。空き巣は、情報発信の対象ではないので、町に情報は入らない。町内の巡回強化や、防犯カメラの有効な設置場所の検討、警察と一緒に啓発活動を実施しており、今後も警察や関係機関と連携していく。



給食調理施設の改修が必要なため、現在の園舎では困難である。

**問** 調整区域での住宅開発に  
そなえて、こども園の拡充を

**答** 現在の園舎では困難である

**問** こども園の受入定員は280名、11月1日現在244名が在籍。保育ニーズの増加をおそれて、2歳児課税世帯への保育料を徴収や育児休業中の保育を中止している。一方で市街化調整区域での住宅開発に道を開き、業者からの住宅開発の提案を受け入れていることは矛盾していないか。調整区域での住宅開発にそなえるためにも、こども園を拡充すべきでは。

**答** **教育管理課長** 令和5年度に定員を260名から280名に拡充。さらなる拡充は、新たな人材確保や

**問** 幼児教育の教材づくりに  
十分な時間の確保を

**答** 業務の連携・効率化により  
時間を確保している

**問** 全国で初めて同一敷地に保幼小中一貫施設を開設した千葉県南房総市は、「幼児教育のための教材づくり時間を確保するため、こども園にはしない」と言われていた。本町はすでに、こども園となっているが、教材づくりに十分な時間を確保できているのか。

**答** **一貫教育推進課長** 他の職員との協力体制を築き、業務の連携・効率化を進めることで、教材づくりなどの時間を確保している。

## 令和7年 3月議会の日程（傍聴可能なもの）

6日(木) 本会議（開会日）

7日(金) 本会議（第2日）

※6日(木) に審議が終了しなかった場合のみ開催

10日(月) 総務建設常任委員会

11日(火) 文教厚生常任委員会

12日(水) 予算特別委員会

13日(木) 予算特別委員会（第2日）

※12日(水)に審議が終了しなかった場合のみ開催

17日(月) 委員会予備日

※10日(月)～13日(木)に審議が終了しなかった場合のみ開催

26日(水) 本会議（閉会日）



上記日程は、現時点での予定です。

いずれも午前10時から本庁舎3階 議場にて開催します。ぜひ傍聴におこしくください。



# 12月議会 委員会報告

## 総務建設常任委員会

委員長 原 明 美

審査結果並びに経過報告 (12月9日開催)

◎田尻町議会議員報酬等条例一部改正の件  
(条例の一部改正) 【賛成1、反対3で否決】

**問** 議会は、人事院勧告の一時金支給に関して、昨今の経済情勢や町民の生活状況を判断し、今回の人事院勧告は見送るべきという意見が出た結果を、当局に知らせたと聞いている。提案された理由を聞かせていただきたい。

**答** 議会での採否の如何に関わらず、町としては議会へ上程し、議論を交わしたいとの結論に至ったため、今回上程させていただいた。

**問** 改正に伴う議長、副議長、議員の年間の効果額と、それを加えた年収額を教えてください。

**答** 議長は3万6千円程度、副議長は3万2千円程度、議員は3万1千円程度の増となる。年収は、議長540万円程度、副議長470万円程度、議員460万円程度となる。

**反対討論** 町民の平均年収を考えると、議員の期末手当を上げることは、賛成しかねる。よって、反対する。

**賛成討論** 物価高の状況が続いている、多くの町民が苦しいのも認識しているが、より住民サービスの向上を図るため、また今後の報酬を上げてはいけないという風潮を断ち切って、社会全体で向上をめざしていきたいと考えているので、賛成とする。

◎特別職の職員の給与に関する条例一部改正の件  
(条例の一部改正) 【賛成1、反対3で否決】

**問** 改正に伴う特別職の年間の効果額と、それを加えた年収額を教えてください。

**答** 町長は約7万5千円、副町長は約7万円、教育長は約4万円の増となる。年収は、町長は約1,120万円、副町長は、約1,060万円、教育長は約970万円になる。

**反対討論** 特別職は、人事院勧告にはあてはまらないと思う。報酬等審議会決定する正当な仕組みを今後つくるべきと思う。

**賛成討論** 現時点において、人事院勧告を今まで採用していた。見送る理由になっていないと考える。

◎田尻町一般職の職員の給与に関する条例一部改正の件  
(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

**問** 再任用職員の給与体系は決まっているのか。

**答** 再任用職員は、基本的に管理職でないので、3級もしくは4級の給料表を適用する。

◎令和6年度田尻町下水道事業会計補正予算(第1号)の件(3万6千円の増額) 【全会一致で可決】

**問** 建設改良費にかかる工事の内容は。

**答** 中央ポンプ場で、沈砂除去設備、沈砂搬出設備、自家発電機室の改修建設工事を行っている。

**問** 第5条の未収金の内容について、教えてください。

**答** 第5条については、特別会計から企業会計に移行する際、特例的収入・支出で3月31日に出納閉鎖したためである。

## 文教厚生常任委員会

委員長 吉 開 育 子

審査結果並びに経過報告 (12月10日開催)

◎令和6年度田尻町一般会計補正予算(第6号)の件  
(2,740万1千円の増額) 【全会一致で可決】

**問** 小・中学校では、タブレット端末を何台保有しているか。また、国府補助金の内容は。

**答** 学校の端末は、824台となっている。今回の更新は、761台を予定している。補助金は、国からの補助金で、1台あたり55,000円を上限に3分の2が交付される。

**問** ギガスクール構想で、先生のICT活用の負担や、生徒の長時間のパソコン利用による健康への懸念は。また、1日の使用時間等は。

**答** 使用時間は、各学年により違う。1つの授業の中で、常時画面を開いていない。例えば、調べ学習の45分のうち10分から15分という形で、常時使用とはしていない。視力等の健康課題についても、学校も認識しているので、必要以上に画面を見続けないう留意している。また、教員に対して過重にならないように、目的を絞って研修等を行っている。

**問** 子育て世帯へのお米の定期便事業で、実質、米の値上がりになったのか。利用者の人数も教えてください。

**答** 値段は当初税抜き2,700円だったが、価格高騰により税抜き3,200円となった。利用者は、令和6年11月時点で1,341人に提供している。

◎令和6年度田尻町介護保険特別会計補正予算(第2号)の件(38万8千円の増額) 【全会一致で可決】

**問** デジタル基盤改革支援補助金は、システム標準化に使われるということだが、現行版へのアップデートということか。

**答** 国において令和8年度から実施される。それに対応するものである。

| 意見が分かれた議案名            | 審議結果 | 坂口 実 | 永井 朋一 | 吉開 育子 | 小川 雄司 | 原 明美 | 山口 明日香 | 冬野 雄一郎 | 今井 猛史 | 金田 裕治 | 中野 静男 |
|-----------------------|------|------|-------|-------|-------|------|--------|--------|-------|-------|-------|
| 田尻町議会議員報酬等条例一部改正の件    | 否 決  | ×    | ×     | ×     | ×     | ×    | ○      | ×      | ×     | 議     | ○     |
| 特別職の職員の給与に関する条例一部改正の件 | 否 決  | ×    | ×     | ×     | ×     | ×    | ○      | ○      | ×     | 議     | ○     |
| 再審法改正を求める意見書          | 可 決  | ○    | ○     | ○     | ○     | ○    | ×      | ○      | ○     | 議     | ×     |

## 意見が分かれた議案についての討論内容

### 田尻町議会議員報酬等条例一部改正の件

#### 反対討論

- ・今回、期末手当引上げを止めることは、やむを得ないと判断した。人事院勧告の調査対象は50人以上の事業所であるが、泉州地域には50人以下の中小・下請企業が多く、苦境に立たされている事業所もあることなどを考慮すると、反対する。（小川）
- ・議員は職員ではないので、人事院勧告に左右されるべきでない。報酬等審議会でも左右されるものと考えている。（坂口）
- ・今の町内を見渡したとき、議員の期末手当を上げることに對し、住民の納得は得られないと思う。（原）
- ・物価高の中であって、自らの期末手当を上げる時期にあるとは思われない。人事院勧告を理由として上げることは反対である。（永井）

#### 賛成討論

- ・物価高で、多くの住民が苦しい状況であるのも理解している。比べるのは中小企業ではなく、議員としての働きだと思っている。より良い社会全体で、向上をめざしていきたい。（山口）
- ・人事院勧告に基づいており、多くの自治体が参考にしている。期末手当も、決して特段にアップしたものでもない。（中野）

### 特別職の職員の給与に関する条例一部改正の件

#### 反対討論

- ・住民の理解を直視しなければならないと考える。議員の時と同じく、現下の地域経済状況をふまえて、反対とする。（吉開）
- ・特別職は一般の職員ではないので、人事院勧告に左右されてはならない。報酬等審議会の中で決定すべきである。（坂口）
- ・反対するのは心苦しいが、町内を見渡しても、給料

が上がっていないので、住民は納得されないと思う。（原）

- ・住民が基準で判断していく方が、正しい答が出る。人事院勧告に基づくのには反対である。（永井）

#### 賛成討論

- ・特別職の給与は、府内でもまだまだ低い。より良い人材が出るためには、少しでも上げるべき。（冬野）
- ・議員と同じく、給与に見合った働きをしてほしい。人事院勧告どおりに上げて、そこから自分で判断してカットすればいいと思う。こちらから言うべきものではない。（山口）
- ・住民のための行政をいろいろと行い、成果が出ている。町行政の評価を考えると、反対する理由が見当たらない。（中野）

### 再審法改正を求める意見書

#### 反対討論

- ・再審法の改正に関しては一定の必要性は感じるが、再審開始決定に対する検察官による不服申立てを法的に禁止することについては、慎重な議論が必要と考える。難しい問題であり、専門家に判断を委ねるべきである。（山口）
- ・えん罪は決してあってはならないので、再審は必要である。ただし、再審開始決定に対する検察官による不服申立てについては、そこまで禁止する理由はなく、必要ではないかと思う。（中野）

#### 賛成討論

- ・再審開始決定は正当な決定であり、実際にえん罪の可能性が高い。制度的に検察官による不服申立てを禁止しても、特に問題がないと思われる。その方が、長年拘束された方を救う道でもある。（小川）